

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 180

所管部局	福祉部	所管課	社会福祉課	担当者名	藤田 武久
事業名	災害時要配慮者台帳整備事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	災害時要配慮者台帳整備事業			政策体系	262
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 1. 社会 - 1. 社会		

## 1. 事業の概要

災害時要援護者対策として、「南丹市たすけあいネットワーク制度」を創設し、台帳・マップを作成。南丹市内の消防署、消防団、警察署、社会福祉協議会、民生児童委員、地域自治区で共有し、日ごろの見守りや、災害時の支援等の資料として活用することにより、地域福祉の推進を図る。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者、障がいのある人などの災害時要援護者を行政、消防団や各地域がともに日頃から把握し、災害発生時に迅速な救護ができる体制を目指す。

### ② 事業を実施する必要性

災害時に自力で避難することに不安のある要配慮者の方々が住み慣れた地域で安心安全に暮らしていただくためには、日頃から互いに支えあい見守っていく地域を形成していく必要がある。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円		470	0	376	287	566	566
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円		470	0	376	287	566	566
職員等の従事人員		人/年	—	—		0.50			
人件費		千円	—	—		2,798			
事業費総額		千円	—	—		3,174			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

申請書類郵送料	290,000円
窓開き封筒等印刷代	49,980円
消耗品代	36,205円

## 5. 事業結果の概要

平成22年5月末に台帳を各関係機関に配備するべく準備を進めた。配備準備を進めるにあたり、南丹市災害時要援護者支援台帳整備の位置づけを明確にするため事業実施要綱を制定した。また、台帳は、登録内容をよりきめ細かなものにするとともに個別台帳とした。その台帳を管理するにあたって、管理システムを構築した。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 台帳配備		
平成22年5月末に台帳を各関係機関に配備、準備	H22.5	

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

災害時要援護者台帳の有効適切な活用を図るため、要援護者の範囲、登録方法、情報共有機関、管理方法、個人情報保護などを規定した実施要綱並びに管理システムの導入について議論した。  
災害時要援護者対策として必要な事業である。  
今後、台帳の有効活用を図るため、避難支援マニュアルを作成する必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

--